

令和4年度 兵庫県立猪名川高等学校 学校評価アンケート集計(評価平均)

評価項目	重点目標	担当部/学年	具体的取り組み	生徒(1年生)	生徒(2年生)	生徒(3年生)	生徒(全学)	保護者(1年生)	保護者(2年生)	保護者(3年生)	保護者(全学)	教員	全体	各部・学年の評価と課題点		
安全・安心で地域に信頼される学校作り	地域や関係機関との連携を密にし、安全・安心で地域、保護者、生徒の期待に応える信頼される学校を目指す。	総務・学年・生徒指導・保健	① 学校HPの充実に努め、迅速に学校の情報を保護者や地域に発信し情報共有を行っている。	2.9	2.9	3.0	2.9	2.7	2.6	2.7	2.7	3.1	3.0	広報活動では、学校ブログでの情報発信が一定の役割を果たしている。今後、ブログ以外の項目についても随時活動内容を更新できるよう、さらなる工夫が必要と思われる。		
		総務・教務・進路指導	② 行事や公開授業などを保護者に案内し、教育活動への理解を図っている。	3.0	3.0	3.1	3.0	2.5	2.6	2.9	2.6	3.2	3.0	HPに中間行事予定等を掲載し、行事ごとに保護者に案内文を出しているが、保護者に案内が届きにくいのではないかと、ミマモルメの活用等、保護者に情報が確実に届くよう検討が必要である。		
		学年	③ 三者懇談や家庭訪問、個人懇談を行い保護者と連携している。	2.5	2.6	3.0	2.6	2.6	2.6	2.9	2.7	3.3	3.0	各学年では面談を行っていることに評価をしているが、保護者からは面談の回数が少ないという意見が寄せられている。		
		総務・教務・進路指導・進路指導・生徒指導	④ 生徒が地域でボランティアなどで活動する仕組みを整え、猪名川町関係機関と連携している。	2.4	2.8	2.7	2.6	1.9	2.0	1.9	2.0	3.0	3.0	委員会活動によるボランティア活動を通して、自己効力感を高めるように取り組んだ。		
		生徒指導・学年・保健・いじめ対応チーム	⑤ 医療機関やキャンパスカウンセラーをはじめ関係機関と連携を図り、安全、安心な環境を整えている。	2.7	2.6	3.0	2.7	2.4	2.6	2.7	2.5	3.2	3.0	キャンパスカウンセラーによる教育相談後に担任や関係職員と情報共有を行うこととお互いの理解が深まり、そのことが生徒の成長・安定に大切な役割を果たしている。		
基礎学力の定着と進路実現	基礎・基本的な知識や学力の定着を図るとともに、主体的に考え、正しく判断し、行動できる力を育成し、生徒一人ひとりの夢・目標の実現を支援する。	教務・進路指導・教科・学年	⑥ 公開授業や研究授業、研修等を通して、教師自ら学び続ける姿勢を持ち教材の精選や指導方法の改善に努めている。	3.0	3.0	3.1	3.0	2.5	2.5	2.6	2.5	3.3	3.0	各学年に生徒への授業アンケートをおこない、授業改善に取り組んだ。公開授業週間には、のべ25人が研究授業を実施し、指導力の向上に努めた。		
			⑦ 各教科において高校3年間で生徒が到達すべき目標を明確にし、シラバス及び年間計画を設定し生徒に周知している。	2.7	2.7	3.0	2.7	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0	学習指導要領の改訂等があり、生徒と単元の狙いや評価基準などの共有に努めている。	
			⑧ 少人数指導、習熟度別学習指導や補習、課題等を通して「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の定着や基礎学力・技能の向上を図っている。	3.0	2.9	3.2	2.9	2.5	2.7	2.7	2.6	3.1	3.0	3.0	入試の多様化で、人前で話したり、議論したりする機会が増加している。学習とともに自己アピールしたり、考えを述べたりするコミュニケーション能力の強化が求められる。	
			⑨ 他者との対話を中心とした授業や課題解決等に取り組む授業を実施し、学習意欲の高揚や学習習慣の定着を図っている。	3.1	3.0	3.3	3.0	2.4	2.5	2.7	2.5	3.2	3.0	3.0	4月当初から多くの授業でグループワークや発表する授業を実施し、1年生については思いや考えを表現する力が伸びてきた。	
			⑩ ICTの活用技術を向上させ、授業の中で活用している。	3.3	2.6	2.9	3.0	2.3	2.1	2.1	2.2	3.1	3.0	3.0	BYODの導入されている1年生の評価が高いが、その他の学年では低く、活用していることが保護者に伝わっていない。	
			⑪ 生徒が主体的に自己の進路について考え個性に応じて進路を選択できるよう、自己理解の促進や進路学習などに取り組んでいる。	2.9	3.0	3.3	3.0	2.5	2.6	3.0	2.7	3.2	3.0	3.0	生徒は素直で教員の指導には従うものの、指導されていないことに関しては想像力や計画性が乏しい。この点は、学習面でも進路選択でも不利に働くことが多い。	
			⑫ 学習支援アプリなどを活用し、生徒に振り返りを促し、自己理解や学習習慣の定着について指導をしている。	2.3	2.5	2.5	2.4	2.1	2.5	2.3	2.3	3.2	3.0	3.0	家庭学習の指導は実施出来たが、生徒の家庭での学習時間に影響を与えるに至らなかった。進研模試や到達度テスト後に自己採点をさせ、振り返りを促すとともに、学習意欲を高めるよう取り組んだ。	
			⑬ 各種検定試験や高大連携を実施し、生徒の進路実現に向けて指導をしている。	1.9	2.3	2.7	2.1	2.5	2.8	2.8	2.7	3.1	3.0	3.0	3.0	学年団と協力し、探究活動と関連を持たせながら多様な入試制度に対応した。
			⑭ 生徒に健康管理や時間管理に留意させ、欠席・遅刻をしない生活態度を確立するよう指導をしている。	3.3	3.2	3.2	3.2	3.0	3.2	2.9	3.0	2.8	3.0	2.8	3.0	欠席・遅刻ともに減ったわけではないが、ミマモルメの導入に伴い、連絡のない欠席や遅刻は減ったと思われる。欠席者・遅刻者への声掛けをはじめ、遅刻が続く生徒に対する早朝登校指導を昨年度に引き続き実施できた。
			⑮ 生徒が挨拶や言葉遣いなど、場に応じた言動ができるように指導をしている。	3.2	3.3	3.3	3.3	2.9	2.9	3.0	2.9	2.5	3.0	2.5	3.0	学年集会では定期的に学校や社会のルールを守ることに触れ、規範意識を高めるよう努めた。
			⑯ 教室の清掃、身の回りの整理整頓を行い学習環境の整備に努めている。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.0	3.0	3.1	3.0	2.8	3.0	2.8	3.0	日常清掃活動及び大掃除は昨年度と同様に清掃活動を実施する。ボランティア活動での校外清掃を次年度も実施する。
			⑰ 行事やHR活動に主体的に関わるようにするとともに集団の一員である意識を高め、他者と協働する力を育てている。	3.0	3.1	3.2	3.1	2.9	2.9	3.1	2.9	3.1	2.9	3.1	3.0	部活動において中心的な立場であることを意識させ、それぞれの部でリーダーシップが発揮されるよう促した。日直の生徒が終礼を進行する(同会をさす)形をとり、生徒の主体性を促した。
			⑱ 生徒会を中心とした各委員会活動を積極的に実施している。	2.9	2.8	3.1	2.8	2.6	2.8	2.9	2.7	2.9	2.7	2.9	3.0	生徒会活動がより活発となるために、生徒会執行部の雰囲気作りが大切であると考えられる。生徒会からの提案を積極的に取り入れていきたい。
社会の変革に対する「キャリア教育」の推進	社会の大きな変革に対し、高い志を持ち、自らの課題の解決に取り組む力や円滑な人間関係を築く態度を育成する「キャリア教育」に取り組む。	進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	⑲ 職業ガイダンスや分野別進路ガイダンスを計画的に行い、生徒が自分の人生について考える機会を与えている。	3.1	3.0	3.1	3.0	2.8	2.9	3.0	2.9	3.4	3.0	定期的に進路ホームページやガイダンス等を行い、進路実現への意識を高めた。		
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	⑳ 仕事(職業)を通して地域や国際社会に貢献する意識付けを行っている。	2.8	2.8	3.1	2.8	2.5	2.6	2.7	2.6	3.1	3.0	2年ぶりにインターンシップを実施することが出来、生徒の職業に関する興味が深まり、社会人としてのマナーやモラルを意識させることができた。		
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会・体育祭実行委員会・特色類型委員会	㉑ 学年縦割りグループ(ブロック演技・特色類型の活動)を編成し、生徒が主体的な活動を行っている。	3.0	3.0	3.1	3.0	2.7	2.6	2.9	2.8	3.4	3.0	体育祭や文化祭においても、例年に近い形で実施することができ、生徒たちが意欲的に取り組むことができた。		
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	㉒ 手帳やポートフォリオなどを活用し、生徒自らが活動の行動計画を立て、省察を行っている。	2.3	2.5	2.9	2.4	2.1	2.2	2.3	2.2	2.5	2.0	2.0	手帳の活用を呼びかけ、提出物や行事、締め切り等の日時を記録させるよう促した。	
自他の生命の尊重	自然への畏敬の念と、よさを感じ、高い志を持ち、自らの課題の解決に取り組む力や円滑な人間関係を築く態度を育成する「キャリア教育」に取り組む。	学年・生徒指導・人権福祉委員会	㉓ 各学年の人権教育の年間指導計画を立て、HRでの学習や全体学習を行っている。	2.9	2.7	3.2	2.8	2.6	2.5	2.7	2.6	2.9	3.0	県指定の心のサポート事業と連携し、豊かな心を育むことを目的に、年間3回の「心のサポートHR」を実施してきたため、次年度も実施していきたい。		
		学年・生徒指導・人権福祉委員会	㉔ 普段の教育活動で人権に配慮し、道徳を重んじた指導を行っている。	3.1	2.9	3.2	3.0	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0	3.0	クラスの特を超えて教科指導や委員会活動で心のサポートHRを行った。	
		学年・人権福祉委員会	㉕ 特別支援学校等の交流実践を通して多様な価値観を認め支え合う共生の心を育てている。	3.0	2.8	3.2	2.9	2.9	2.7	3.0	2.8	3.2	3.0	3.0	交流及び共同学習においては、生徒が主体となり企画をすすめ、コロナ前の状態に近づけた形の、対面による実施をすることができた。川西養護学校への訪問や来校も実現し、アフターコロナの交流のかたちを作ることができた。	
		学年・人権福祉委員会	㉖ 特別支援学校と連携して特別支援教育研修を行い支援が必要な生徒の支援計画を立てている。	3.1	2.9	3.2	3.0	2.7	2.6	3.0	2.8	3.1	3.0	3.0	福祉交流では、分教室との交流が10年目となるので、これまでの活動を振り返り、持続可能な交流活動を計画する。学年を超えた取り組みを目指す等、全校生徒が関わりやすい形での実施を目指す。	
評価平均			2.9	2.8	3.1	2.9	2.5	2.6	2.7	2.6	3.0	3.0				